

令和6年3月現在

## 百貨店が直営のいちご農場を開設🍓！

(「近鉄百貨店直営いちご農園 はるちかファーム」)

### 【概要】

本社所在地：大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目

設立：昭和9年9月

資本金：15,000百万円

役員：23名

社員数：1,523名 ※令和5年2月末現在

ハウス面積：0.41ha

営農作物：いちご

農場所在地：大阪府南河内郡河南町

農業開始時期：令和5年10月



はるちかファーム看板



はるちかファームの外観

### 【農業参入に至った経緯・動機】

株式会社近鉄百貨店は ESG に配慮した取り組みとして、『地域に寄り添い、地域といきる』を掲げており、その一環として河南町に農業参入を決めた。生産から販売までを自社で担う生産事業の活動の中で、近鉄沿線及び百貨店店舗地域の地域経済の活性化に貢献したいと考えている。

【農業参入することを決めてから営農開始まで】

令和4年8月に百貨店内に専任チームを立ち上げ。

準備期間中には現地で農業専従となる担当係長が大阪府の「南河内いちごアカデミー」（令和4年9月～令和5年3月）を受講、修了後には先行のいちご農園にて実地研修を受け、ノウハウを学んだ。

農地の確保は大阪府農地中間管理機構（大阪府みどり公社）を通じて10年契約で賃借している。

高設プラントや苗については先行のいちご農園から農地所有適格法人の紹介を受け業務提携契約を締結し、種苗の購入を含め生産技術の指導を受けることとなった。

農業経営・就農支援センター（大阪府みどり公社）では大阪府からの支援要請を受けたサポート専属スタッフが、準備期間初期から参入情報の提供、農地賃借手続き等参入に関する相談対応など、寄り添った支援を行ってきた。

（営農開始から現在まで）

ブランド名を近鉄いちご「はるかすまいる」とし、令和5年12月6日よりあべのハルカス近鉄本店タワー館地下2階生鮮日配売り場内及びウイング館地下2階自主産直ショップ「ハルチカマルシェ」にて本格販売を開始した。同年12月25日にはTV放映され、注目度が高まっている。

令和6年1月31日からは奈良県内3店舗で、同年2月7日からは和歌山店でも販売開始され、今後も近鉄百貨店の系列店で順次売り出される予定である。

また、令和6年1月31日～2月6日には、奈良県内3店舗共同企画「いちごまつり」の中で「はるかすまいる」を使用した限定スイーツ等が販売された。

農業経営・就農支援センター（大阪府みどり公社）では、サポート専属スタッフが現地巡回を行い、ほ場の管理状況、栽培ベッド等の状況や苗の状態・定植、栽培管理について、収穫前にはサイズ分けや規格外品の活用方法等について助言するなど、きめ細やかな相談対応を行った。

【今後の農業経営の展開方向】

「はるかすまいる」は今後も近鉄百貨店の系列店で順次売り出される予定。  
さらに、現在はいちごのみの栽培であるが、新規果樹の展開も検討中である。



いちご荷姿（3L）



いちご荷姿（2L）